

**2026 年度**  
**高知大学大学院 総合人間自然科学研究科**  
**看護学専攻（修士課程）**  
**〈第3次募集〉**  
**（社会人特別選抜）入学者選抜試験**  
**専門科目（健康支援学） 問題冊子**

この表紙をよく読んでください。ただし、試験開始の合図があるまではこの冊子を開いてはいけません。

以下の**〈解答上の注意事項〉**をよく理解した上で解答してください。

**〈解答上の注意事項〉**

1. 受験票を机の上に置いてください。
2. 試験開始の合図の後、まず解答冊子の受験番号欄に受験番号を記入してください。
3. 試験時間は60分（9：30～10：30）です。
4. 問題冊子は1ページです。解答冊子は1～3ページです。
5. 解答はすべて解答冊子の所定の欄に記入し、解答冊子を切り離さないよう注意してください。
6. 冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等により解答に支障がある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
7. 試験終了後、解答冊子のみを回収します。問題冊子は持ち帰ってください。
8. 試験終了時刻までに解答が終わっても途中退室はできません。

I 生活習慣病の看護では、患者のセルフケアや自己効力感が重要となってきますが、事例を読んで設問に答えなさい。

事例 A氏（55歳，男性，会社員）は，半年前の職場の検診で高血圧症と2型糖尿病，高脂血症を指摘され現在医療機関で治療を継続している。BMI（Body Mass Index） $30 \text{ kg/m}^2$ と肥満域にあり，30年間の喫煙歴，飲酒も週に3日程度ある。最近，血糖コントロールの悪化が認められ，主治医からは合併症発症のリスクが高いと指摘された。しかし，A氏は「今の生活習慣を変えるのは難しい，今さらどうしようもない」と述べ，治療および自己管理への意欲が低下している。配偶者はA氏の健康状態を憂慮しているが，どのように関わるべきかに迷いを抱えている。

設問1 以下の概念について，看護学的視点から説明しなさい。（各10点，計20点）

①セルフケア

②自己効力感

設問2 A氏のセルフケア行動を促進するため，家族を含む社会的支援の獲得に向けた援助として考えられる内容を2つ挙げ，それぞれ150字以内で論述しなさい。（各20点，計40点）

設問3 A氏の治療・自己管理への意欲低下に対し，看護職として自己効力感を向上させるための具体的な支援方法を2つ挙げ，それぞれ150字以内で論述しなさい。（各20点，計40点）